

土建しんぶん

墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合

江東ブロック会議

江東区北砂1-1-4

TEL (3640) 2411

発行者 実川 英治

定価 30円

新聞代は組合費に含まれています

江東支部

謹賀新年

力をあわせより良い江東支部へ  
変化の年に、支部一丸で  
前進を東京土建一般労働組合  
江東支部 執行委員長

富樫 康弘

組合員の皆様、ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

昨年、国内外で政治の大きな転換点となる出来事が続きました。

アメリカでは1月、トランプ氏が再び大統領に就任し、国際社会に大きな影響を与える発言や政策が連日注目を集めています。ウクライナとロシアの戦争を「1日で終わらせる」といった強気の発言や、中東情勢についての独自の構想など、評価は分かれるものの、指導者として強い姿勢を示す場面が多くありました。

一方、日本では10月の自民党総裁選で高市議員が選出され、新しい総裁として首相に就任しました。就任当初から「政治とカネ」の問題にどう向き合うのが注目されています。また、掲げていた企業・団体献金の禁止が具体的に進んでいないことに対して疑問の声もあります。また、議員定数削減ばかりが議論

される中で、議員報酬の見直しこそ優先すべきではないかという意見も根強くあります。

高市首相は精力的に政策課題に取り組んでいる様子も見られますが、失言が取り上げられる場面が多く、台湾有事に関する発言などがメディアで大きく報じられ、批判を受けていることもありました。

さらに、物価高騰、特にお米の価格上昇、消費税減税の議論、裏金問題の再燃など、国民生活に直結する課題が次々と浮かび上がっています。私たちの暮らしに関わる問題だからこそ、これらの対応を最優先に進めてもらいたいものです。

私たち東京土建の組合員にとって、政治の動きは働き方や生活に影響を及ぼす重要な要素です。高市政権には、現場で働く仲間の声に耳を傾け、建設産業に携わるすべての労働者が安心して働ける環境づくりに力を尽くしてほしいと期待しています。

いずれにしても、組合員の生活と権利を守る政策が着実に前進するよう、東京土建にとっても国民にとっても、より良い政権・内閣となることを願うばかりです。

このような情勢の中で東京土建江東支部の諸運動に、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。今年も江東支部執行委員長として、建設現場で働く仲間の「命」とくらし・家族・仕事を守る運動の先頭に立ち、走り続ける所存でございます。これらのためには、「組織拡大と組織強化」についても言っていますが、とても重要になります。組織が大きくなり、そして強くなければ、

いろいろなことが前に進んでいきませんので、江

東支部組合員の皆様、家族の皆様、力を貸していただければ幸いです。

そして今年も「命の綱土建国保」を守り抜く、こんなに良い制度、

補償はないです。「マイナンバー保険証阻止」

12月から従来の保険証が使えなくなりました。

「標準賃金の獲得」最低賃金1500円から1

700円を目指します。「公契約条例の制定」

東京23区ではほとんどが制定江東区は、まだ

です。「アスベスト訴訟の全面解決」まだまだ

半分くらいです。「住宅デ」成功しましょう。

「平和と憲法を守る」などまだまだたくさんあり

ます。これら要求実現を目指して、江東支部

組合員の皆様、家族の皆様と共に、執行しガン

バッテいきたいと思います。東京土建組織の力

を持つても、これらの取り組みを実行実現し、

要求を勝ち取るのは、極めて大変で困難だと思

います。これらすべての要求実現には、やはり

江東支部組合員の皆様、家族の皆様のご理

解とご協力が何より、何より、必要となります

ので、その点を踏まえて今年も皆様と共に、

奮闘していききたいと思ひます。またこれらの取

り組みを宜しくお願い申し上げます。そして

「より良い江東支部・誇り高き江東支部」に

していきたいと思います。本年も江東支部組

合員の皆様、家族の皆様と心を一つにして、

悔いのない組合活動をしていきたいと思います

す。「共に頑張っていきましょう！」



平和の記憶を  
歩く

## 平和戦跡めぐりを実施

戦争の記憶をたどり、平和を考える一日 歴史に触れ、平和を学ぶフィールドワーク 地域に残る戦争の記憶をたどる  
専門家の案内で深まる理解 参加者が感じた平和の重み 記憶を未来へつなぐために

11月16日(日)、教育宣伝部と厚生文化部の共催による「平和戦跡めぐり」を実施しました。江東区には、東京大空襲をはじめとする戦争の記憶を今に伝える貴重な史跡が各地に残されています。今回は、東京大空襲・戦災資料センターの工藤芳弘副館長をガイドとしてお招きし、東陽町から支部会館まで実際に歩きながら、その歴史に触れるフィールドワークを行いました。参加者は、地域に残された痕跡を見て回りながら、当時の状況や人々の体験について丁寧な解説を受け、改めて平和の尊さを感じる時間となりました。また、ウォーキング形式の企画ということもあり、健康づくりにもつながる有意義な催しとなりました。これからも、戦争の記憶を風化させず、平和の大切さを次の世代へ伝えていく取り組みを続けていきます。



大島分会

寺内 博

11月16日天気恵まれた中、工藤さん(東京大空襲戦災資料センター)と共に江東区内の史跡めぐり(フィールドワーク)をおこないました。集合場所の東陽公園は、関東大震災(1923年)の時に震災復興公園として設置され、現在は地域の防災、憩い、コミュニティの場としての役割を担っていることを知りました。東陽国民学校(現在の東陽小学校)では、3階建ての校舎で百十数名が命を亡くされ、学校に逃げていた人々と同じ運命だったのだと思った、との手記を配布された資料と共に説明を受けました。東京大空襲で亡くなった東陽4・5丁目の方々を供養するために建てられた深川親子地蔵尊。深川高校は、飛行機の補助タンクを作るための学校工場となっていました。山積された和紙やラッカーで空襲の夜の被害が大きく、避難した人々から多くの死傷者を出しました。現在、校内に建てられた慰霊碑は生徒たちが清掃、献花をしています。南砂の六地藏は東京大空襲で焼失しましたが、1952年頃に戦災殉難者慰霊もかねて再建されました。「1945年3月9日あしたのやくそく」という絵本にもなっています。午後からは戦災資料センターで証言映像や展示を見ました。二度と戦争の惨禍を繰り返すことなく、平和の世界になることに貢献したいと思います。



4砂分会

佐原 晶子

秋晴れの日曜日、東陽公園に集合し平和戦跡めぐりに参加しました。東陽公園から始まり、東陽4丁目の親子地蔵、東陽小学校や都立深川高校、江東区役所、南砂2丁目の六地藏、馬頭観世音、北砂の戦災資料センターと、初老?の年代には散歩感覚でめぐることができるコースでした。東京大空襲で焼夷弾爆心地は江東区内にたくさんあり、公園は仮埋葬地として遺体が置かれました。東陽公園も空襲で亡くなった人々の遺体が集められ仮埋葬されました。遺体は後に発掘され、火葬にした遺骨が両国の東京都慰霊堂に納められました。親子地蔵は、知らない人は通り過ぎてしまう場所にありました。区役所前の母子像はなぜこの場所にあるのか、台座部分が植え込みに囲われている状況は残念です。横十間川をとおる、六地藏へ向かいました。六地藏の優しいまなざしが忘れられません。午後は戦災資料センターを見学。この悲劇を二度と繰り返してはいけないと、未来に語り継ぎたいと思います。



亀戸分会

教育宣伝部部长  
菅野 元淑

平和戦跡めぐりに参加しました。「深川親子地蔵尊」、深川高校内の「戦災殉難者慰霊の碑」、区役所前の「平和の母子像・希い」、南砂の六地藏、馬頭観世音と見て回りました。公園・学校・郵便局など、広い敷地があった場所が被災して亡くなった方の仮埋葬した場所になっていたことを知り、戦争の悲惨さを改めて感じました。工藤さんの解説がとても分かりやすく、資料と合わせて確認することができました。ゆっくり歩きながらのフィールドワーク、過去の出来事を身近に感じ、平和の大切さを改めて心に刻む一日となりました。午後からの戦災資料センターの見学では、私たち以外に若い人、家族連れの人たちもいました。この人たちが東京大空襲のことを学んで、周りの人たちに伝われば、戦争反対、平和の世の中になっていくことを望みます。戦後80年が経過し、戦地に行った人、空襲に遭った人が減っています。私たちは過去のあやまちを学び、この先の未来が平和で続いていくようにしていかなければならないと思います。



南砂分会

岡部 妙子

平和取材戦跡めぐりに参加して、砂町で生まれ育った私にとって、何気なく通っている道に戦跡が残っていることに、驚きを感じると同時に、維持して残してくれている方々に感謝します。工藤さんのお話すべてに感心し、うなずくことばかりでした。貴重なお話を聞くことができ、感謝したいと思います。近くにあるのにずっと行きたかった戦災資料館。私が住んでいる町は、アメリカ軍が計画爆撃をしていた空襲地帯から外れていましたが、風の影響でほぼ焼失してしまったことを知りました。秋の紅葉も感じながらの散策と戦跡めぐり、自分が今まで参加した企画の中で、一番刺さる企画でした。次回開催時には自分の子ども達世代、後継者世代のみなさんにもぜひ参加してもらいたいです。



砂中分会

庄司 緑

今から80年前の出来事、何不自由もない現代。今の子ども達、若い人達。戦後の食べるものが何もない時代、我が家の義父もフィリピンで24歳の若さで戦死し、大変苦労したと聞いています。戦争のおそろしさ、こわさ、つらさをわかりやすく説明していただき、戦災資料センターでは当時の写真、資料を詳しく説明していただき、貴重な経験ができてとてもよかったです。



南砂分会

太田 慶博

東陽公園からスタートして、東京大空襲で亡くなった方々を慰霊する碑を見て回り、自分の身近にこんなにたくさんの戦跡があるとは知りませんでした。案内してくださった工藤さんの話を聞くと、たくさんの人が命を落とし、とても大変なことだったと思います。戦災資料センターでは、実物の焼夷弾の重さや大きさにびっくりしました。これから先、今日歩いた道や訪れた場所を通るたびに、私たちはきっと今日の話を思い出すことでしょう。同じ風景でも、今回の学びを経て見え方が少し変わり、心に留めておきたい思いがよみがえるはずです。



南砂分会

太田 まゆみ

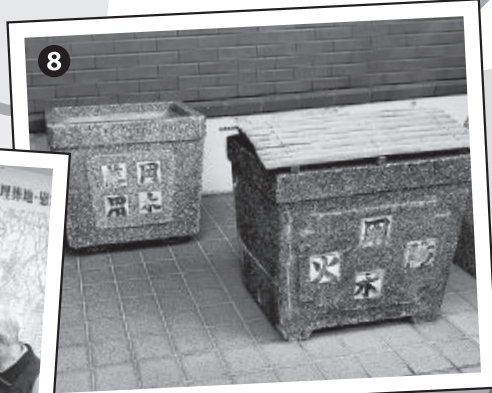
平和戦跡めぐりに参加して、工藤さんのお話を聞きながら歩いた時間は、とても心に残るものでした。丁寧にわかりやすい説明のおかげで、当時のようすや人々の気持ちが自然と想像でき、たくさんの学びがありました。とくに、江東区で多くの方が犠牲になったことを知った時は、胸がぎゅっと締めつけられる思いがしました。母子像や親子地蔵の前では、製作者の方が込めた願いや想いがそっと伝わってくるようで、静かに手を合わせたくなる気持ちになりました。今回のめぐりを通して、過去を忘れず、平和を大切にしていきたいという思いがもっと強くなりました。



砂中分会

漆山 久子

秋晴れの日曜日、東京大空襲のあった戦跡めぐりに参加しました。ガイドの工藤さんの説明に、戦争の悲惨さに胸が締め付けられました。東陽公園は、「子どもたちが楽しく遊べる所」としか考えていませんでしたが、ここにいる誰もが悲しい出来事があったことなど知りませんね。7か所の戦跡をめぐりましたが、特に母子像に戦争の痛ましさを感じ、胸が苦しくなりました。未来の子どもたちにも見て聞いて知ってもらいたいと思いました。私は山形で生まれました。3歳の時に父は戦地へ、母は私たち子どもをかかえて、父の帰りを何年も待っていました。戦地にいた父からは、現地でどのくらい苦しい話を何度も聞かれました。母子像に母の姿が重なり、胸がいっぱいに。どんなことがあっても、未来のある子どもを戦争に巻き込むことだけは、絶対に反対です。今回の企画に参加できて、本当に勉強になりました。



南砂分会

岡部 雅代暢

工藤さんの戦跡フィールドワークについて、これまで第2次世界大戦のことは、自分で調べた範囲でしか知りませんでした。今回の工藤さんのお話を聞いて、当時の出来事や人々の暮らしがぐっと身近に感じられるようになりました。自分で見聞きするのとは違い、実際に歩きながら説明を聞くことで、歴史が少し「自分ごと」になるような気がしました。戦災資料館については、丁寧に見学していたら時間が足りず、改めて再訪してじっくり見たいと思います。今回のこのような企画に、また参加したいと思いました。



砂中分会

堀内 裕彦

午前中は東陽町・南砂の戦跡、地蔵尊・慰霊碑・母子像をめぐりました。ガイドしてくださった工藤さんは、戦争の悲惨さを、各所をめぐりながら丁寧に説明していただきました。特に印象に残ったのは、当時「防空法」という法律があり、空襲によって起きた火災から逃げることなく消火活動するといふもので、それにより、落とさなくてもいい多くの命が犠牲になったことを初めて知りました。また、区役所前の母子像の台座をわざと隠すように、植え込みで囲まれてしまっていることに、残念だという説明も印象に残りました。お昼を挟んで、午後は北砂1丁目の東京大空襲・戦災資料センターを見学しました。館内にはそんなに広くないですが、戦争に関する写真・映像・地図・遺品・書籍があり、充実していました。年配の学芸員さんからも戦争の悲惨さを教えられました。また日を改めて見学したいと思いました。戦争は二度とやってはいけないと強く思った今回の戦跡めぐりでした。

- 1 東陽公園に集合し、工藤さんから資料の説明とフィールドワークの概要を聞きました。
- 2 深川親子地蔵尊。出征中に空襲で娘さんを亡くされた石工の寺台孝三郎さんが像を刻みました。
- 3 親子地蔵尊の由来。東京大空襲で亡くなった東陽4・5丁目の方々の供養のために建てられました。
- 4 非核平和都市宣言を求める区民の署名運動が実を結び、江東区は1986年12月13日に「平和都市宣言」をしました。当時、江東支部もたくさんの署名を集めて運動をけん引しました。
- 5 平和の母子像「希い」台座のプレートには犠牲者の鎮魂と恒久の平和、安全を念願して永く忘れないため、とあります。
- 6 六地藏・戦災殉難者供養の碑。空襲で消失しましたが、1952年頃に再建されました。
- 7 空襲の全体像が分かる、大きな都心部の被災地図。
- 8 空襲から逃げ惑う中、多くの人が防火用水をかぶったり口に含んだり、貯水槽に身を潜めて炎から逃れようとした。しかし小さな水槽はすぐに干上がり、朝にはその周りで多くの人が命を落としていたといひます。



## お天気家族



22 21 19 17 15 13 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1  
機械。ピッチング…  
一年の1番目の月  
争の期間  
ペリー来航、戊辰戦  
I.Q. ……が高い  
チョコレートの仲間  
……講習。…五輪  
……画。…絵の具  
新年に消防士が行う  
行事  
有。…。嘗。…  
声  
新年に消防士が行う  
行事  
有。…。嘗。…  
声

### うま年クロスワード

【問題】二重ワクの7文字を、A～Gの順に並べてできる言葉はなに？ 【出題/モロズミ勝】

1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	32	33	34
35	36	37	38	39	40	41
42	43	44	45	46	47	48

馬 午 馬 午 馬 午 馬

答 A B C D E F G

新春クロスワードの解答を1月31日(土)までに郵便はがきでお送りください。正解者の中から抽選で20名の方に図書カードをプレゼントします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
クイズの答えは2月号に掲載します。【宛先】江東区北砂1-11-4 東京土建江東支部「土建しんぶん」係

20 18 16 15 14 12 11 7 3 1  
した国 います 相撲の行司が持つて 吐き出す息 毛の色がまだらな… 産 業 ……業は日本の基幹 リンク 不安を静めます。ヒ ッド ……テール。…ベ ？ 新年のあいさつ ……テール。…ベ 今年は何通届くかな

38 36 35 33 31 30 29 27 25 24 22  
場 町はずれ、…の酒 大黒天が持つ…出 の小づち 心配。懸念 ……野球 素人が集まってする 期 間 正月の松飾りがある

42 41 40  
源義経の幼名 飛行機にも持ち込め る刃物 スケート場のこと  
タテのカキ。 内。…心。…肝 ……三日坊主の人はいま ……一遍上人が広めた、 踊り… 商店…歓楽… ……灯 水を出したり止めた

39 37 34 32 30 28 26 23  
古名は「たつ」です ……虫。…節 ……合戦。…女。 ……おおよけのものを私 ……Kで表す部屋 人並みはずれた強い ……広重など 歌麿・写楽・北斎・

## 労働TOPIC

### 最賃目標がうやむやに 生活と経営守る運動を

石破前政権が掲げた、2020年代中の最低賃金1500円という政府目標を、高市政権がうやむやにしようとしている。そんな疑念と懸念が労働組合関係者の間で渦巻いています。現首相は施政方針演説で言及せず、総合経済対策にも盛り込んでいません。非正規労働者が多く働く流通業、サービス業の労組を抱えるU.A.センセの永島智子会長は12月4日の春闘方針案について、00円実現へ中小企業支

ての会見で、日本の最賃が欧州諸国と比べて極端に低い現状を指摘し、政府の総合経済対策は、中小企業支援について、従来の政策を踏襲しつつ、「売上高百億円宣言企業」への支援強化や企業合併・買収促進など「勝ち組」支援を強める印象が拭えません。軍需産業支援への傾斜も顕著です。働く者、中小企業の生活と経営を守る運動が今求められます。

### こよみ

1月

1日	元旦、全日本実業団対抗駅伝競走大会	15日	小正月	7日	七草、全国高校ラグビー大会決勝
2日	東京箱根間往復大学駅伝競走(3日)	20日	大寒、シマエナガの日	11日	大相撲一月場所(25日)
4日	世界点字デー	24日	教育の国際デー、若草山焼き	25日	
5日	小寒	26日	腸内フローラの日		

## お正月の映画 2026



### シャドウズ・エッジ

ラリー・ヤン監督

名優ジャッキー・チェンが犯罪組織と闘うアクション映画。中国では興行収入ランキング4週連続1位を記録した話題作です。謎のサイバー犯罪組織が暗躍する国際都市マカオで、元警察官が若手の精鋭らとチームを組み、最新のテクノロジーと監視術を駆使して悪の組織を追い詰めていきます。12月12日から公開。

©2025 IQIYI PICTURES (BEIJING) CO., LTD. BEIJING ALIBABA PICTURES CULTURE CO., LTD. BEIJING HAIRUN PICTURES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



### 新解釈・幕末伝

福田雄一監督

江戸時代から明治へと日本が大転換した幕末。誰もが知る激動の時代をコメディ映画のヒットメーカー、福田雄一監督が新たな解釈で描く超大作です。幕末の英雄として語り継がれる坂本龍馬(ムロツヨシ)と西郷隆盛(佐藤二朗)の二人を主人公に、豪華俳優陣が日本列島を爆笑させます。12月19日から公開。

©2025 映画「新解釈・幕末伝」製作委員会



### 映画ラストマン

FIRST LOVE

平野俊一監督

どんな事件も解決するという全盲のFBI捜査官・皆実広見(福山雅治)が来日。警視庁刑事の護道(大泉洋)とともに、ある事件捜査のために北海道へ。そこで出会ったのは皆実の初恋の人ナギサ(宮沢りえ)。なぞの組織から彼女を守るうと、FBI、CIA、北海道警とチームを組み、動き出しますが―。12月24日公開。

©2025映画「ラストマン」製作委員会



### 五十年目の俺たちの旅

中村雅俊監督

1970年代に放送された人気青春ドラマの初映画化。カースケ(中村雅俊)、大学の同級生オメダ(田中健)、カースケの小学校の先輩グズ六(秋野太作)は70代になり、それぞれが平穩に過ごしていました。ある日、カースケはかつての恋人の話に耳にして―。あの大ヒット主題歌も懐かしく響きます。1月9日公開。

©「五十年目の俺たちの旅」製作委員会